

みんなでいじめをなくそう 大村小と大田小で人権教室



12月4日から10日までの「人権週間」を前に、人権擁護委員協議会筑西市部会が、大村小学校と大田小学校の4年生を対象に「いじめをなくそう」人権教室を開催しました。

人権擁護委員のみなさんが講師を務めた授業では、いじめや偏見がテーマの「桃色のクレヨン」というアニメを鑑賞したあと、いじめについてみんなで考えました。

「みなさんならどうしますか」という講師からの問いかけに、「私なら相手の立場になって考える」「いじめはみんなでなくさなければ」児童たちのたのしい意見が聞かれました。

人間国宝の技に歓声

市内在住の漆工芸家・大西さんが講演



11月11日、アルテリオ集会室で、人間国宝（重要無形文化財保持者）で筑西ふるさと大使でもある漆工芸家・大西勲さんの講演会が開かれました。これは、市民グループ「下館・時の会」が主催したものです。大西さんはこの秋、ロンドンの大英博物館で開催された「わざの美・伝統工芸の50年」展に招かれてデモンストレーションを行い、大好評を得ました。この日は、大英博物館で行ったように、鉋^{かん}がけや米を使った糊付けなど精密な曲輪^{まげわ}の制作過程を、1000人を超える観客の前に披露。自らを「職人」と語る大西さんの国宝の技に、会場から歓声が上がりました。

あまくておいしいね 五郎助山で焼きいも会



11月1日、関城子育てひろばでは、秋の深まりゆく、里山・五郎助山で「焼きいも会」を開催しました。

この日は、里山を守る会のみなさんが落ち葉を集め焚き火を準備し、参加者がさつまいもを新聞紙とアルミホイルに包んで火の中へ入れました。待ち時間には、子育てアドバイザーのみなさんと参加した親子が、里山の中で楽しく遊びました。そして、焼きあがった、カリカリホクホクのさつまいもに、全員が舌鼓を打っていました。

アイマスクで歩行訓練

村田小の児童が盲導犬とふれあう

「盲導犬ってどんな犬?」。11月8日、村田小学校では盲導犬とのふれあい集会を開催しました。この教室は、盲導犬育成の募金活動を行っている明野ライオンズクラブ（松崎俊一会長）が、児童たちに普段あまり接する機会がない盲導犬とふれあってもらおうと開いたものです。

教室では栃木県盲導犬センターの訓練士から盲導犬の訓練の話などを聞いた後、児童たちがアイマスクを着用しイオリとイビの2頭の盲導犬に連れられて歩行訓練をしました。

「最初は不安だったけど、ちゃんと歩いてすごい」犬の頭をなでながら児童が感想を話してくれました。



お年寄りを招いて寸劇鑑賞

嘉家佐和ふるさと祭り

嘉家佐和の春日児童館（斉藤旭館長）を会場に10月28日～11月3日まで『ふるさと祭り』が開催されました。会場には子どもや大人が作った書道や絵画、手芸などの作品や菊の花を展示。最終日にはお年寄り約70人を招待し、国際文化交流劇団・曼珠沙華まんじゅしやわによる踊りや寸劇などを鑑賞、また赤飯やとん汁、おでんなどを振る舞い、お年寄りは手作りのご馳走に舌鼓を打ちました。

自治会（高島昌平自治会長、戸数179戸）では、これを地元主催の敬老会と位置づけ22年以上も続けており、お年寄りに楽しい一日を過ごしてもらっています。

生きがいつくりに貢献

茨城県還暦軟式野球大会

平成19年度秋季茨城県還暦軟式野球大会が11月3日、ねりんピック茨城2007協賛イベントとして、当市の関城球場などで開催されました。大会には県内の19チームが参加、開会式では関城クラブの大吉豊選手が「健康で元氣よく、若い人の模範になるような楽しい野球をすることを誓います」と宣誓し、5日までの3日間熱戦が展開されました。

2回戦で健闘むなしく敗戦しましたが、笹嶋啓主将は「現在は関城地区のメンバーが多いが、今後は全筑西市として多くのクラブ員を募り、強いチームづくりを目指したい」と来季への抱負を語ってくれました。

